

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

「いよいよ、12月から相川診療所建設が始まります！」



新診療所のイメージCG

最初に「吹田・相川エリアの民医連の歴史」を紹介したいと思います。戦前無権利状態に置かれた労働者、農民、住民のいのちと健康を守る運動として、JR吹田駅前（※現在のJR吹田駅前の跡地）に三島無産者診療所が設立（1931.8.10）されました。

その当時、労働者や貧しい人にも平等に医療が受けられることを目指した診療所です。現在の無料・低額診療事業の発祥でもある大阪の歴史に刻まれている診療所と聞いています。

戦前の治安維持法下で激しい弾圧を受け、3年後には閉院を余儀なくされますが、戦後まもない1949年に、戦前の無産者診療所の歴史を引き継ぐ現在の相川診療所の場所に「日共診療所」が開設。1953年吹田民主診療所、1964年に相川病院、2010年相川有床診療所、2013年に無床診療所、2020年四法人合同で、現在に至っています。



建設予定地



三島無産者診療所跡

淀協は3年前の4月に「淀協80周年プラン（淀協中長期経営計画（案））」通称：80プランが提案され、2027年（淀協創立80周年の年）を節目に、淀協が何をめざし、何を達成するのかを描いた活動計画の中のひとつに、老朽化した相川診療所の建て替えがあります。

2024年のリニューアルオープンから、3年ほど遅れはしましたが、あらためて仕切り直しも行われ、2027年3月リニューアルオープン（建て替え移転）を目指して、地域友の会の皆さん、吹田・相川エリアで働く職員で建設運動に取り組んでいます。訪問先の会員さんから『建て替え現地では喜んでますよ！』『いよいよ工事が始まるんですね！』と地域からは大きな期待の声が寄せられています。

引き続き月1回の地域訪問行動や週2回のミニ地域訪問行動に法人からの支援を頂きながら、必ず淀協80周年プランを成功させて、今後の事業計画に繋げていければと思います、日々奮闘しています。 相川建設委員会 藤野俊弘



9/27に行われた第13回地域訪問行動



2025年 80周年の宝庫・相川診療所建設！
わくわく・あいかわ健康まつり
日時：11月2日（日曜）
午前10時～午後2時

10/23(木)午後2時～

オンライン運動教室 毎月第四木曜日開催



「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

にしよどがわ安心・安全フェスタ

「はたらくくるまフェスタ」に西淀病院として参加

10月12日（日）西淀川区福町にあるイズミヤショッピングセンター福町店の屋上で開催された「にしよどがわ安心・安全フェス」（通称：はたらくくるまフェスタ）に、西淀病院も参加しました。



西淀病院は、子供用の白衣・ナース服を着て、医師や看護師になりきったり、介護車に乗降する体験をしてもらいました。



●秋は西淀川区内のイベントも目白押し。10月25日には、西淀川区役所で「いきいき健康展」が開催されますが、そこでも西淀病院はブースを出す予定です。

当日は10時からの開始でしたが、開始前から並ぶ家族もあり、地域の中でもとても注目されているイベントなのだと感じました。

このイベントには警察や阪神電鉄、自衛隊なども参加しており、それぞれの車両が来ていましたが、西淀病院が持参した介護車は、実際に車イスに乗った状態で車に乗降する体験ができるので、子供たちも興味津々。

天気はあいにくの雨でしたが、「乗ってみたい！」とひっきりなしで大盛り上がりでした。

残念ながら昼頃から大雨になり、当初の予定よりも2時間近く早く終了することになりましたが、ギリギリまで体験される方がおられ、2時間で50組を超える家族が参加してくれました！

毎月22日はスワンスワンの日

13:00～13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)



日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH2025年度アンケート